

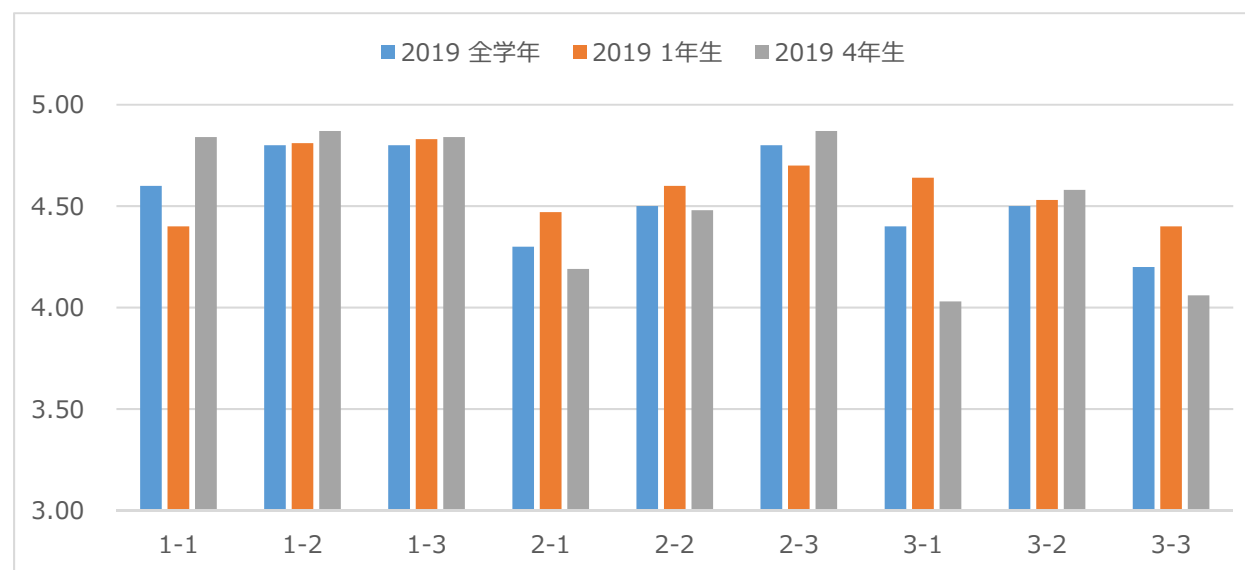
## 2019年度 教育課程編成・実施の方針に照らした教育の取組の適切性に関する検証

マイステップ・リエゾンポートフォリオ「学びの姿勢ふり返り（学科／研究科専攻の教育課程編成・実施の方針）」のデータを活用した検証です。各学科／研究科専攻の教育課程編成・実施の方針については、本学ホームページの「教育方針」（下記のURL）をご覧ください。

<https://www.tfu.ac.jp/aboutus/policy/index.html>

学科・研究科専攻名 医療経営管理学科

教育課程の編成・実施の方針に掲げている(1)～(3)の項目について、取り組みの適切性を6段階（1 全くそう思わない～6 非常にそう思う）で評価した。



### <教育課程編成・実施の方針>

#### (1) 興味・関心をキャリア形成につなげる：

- (1-1) 実体験に基づく学び
- (1-2) 医療やいのちに関する体系的学び
- (1-3) 実社会で使える知識・技能の修得

#### (2) 奉仕の心から福祉の心を育む：

- (2-1) 地域に対する当事者理解
- (2-2) 健康に対する当事者理解
- (2-3) 対人関係能力の養成

#### (3) 主体性を発揮し実社会で活動する：

- (3-1) 心身の調整法・鍛錬法の日常化
- (3-2) 実行力、考察力、課題解決能力の養成
- (3-3) 成長サイクルの日常化

全学年の平均値で4.5以上の高い数値を示していたのは、6項目あった。

昨年度の同学年と比較すると、1年生と4年生ともに「(1-3)実社会で使える知識・技能の修得」に関して、統計的に有意な向上が見られた。

初年次からのキャリア教育、専門教育科目のICTスキル、リエゾンゼミⅠのフィールドワークや医療概論のTBL、地域活動をテーマとした各ゼミでの取り組みなどが、上記の結果をもたらしたものと推察される。